

第3学年A組社会科学学習指導案

日時	時限
場 所	年 組教室
指 導 者	

1. 単元名 公民的分野「北方領土問題の解決に向けて」

2. 単元設定の理由

①生徒について

生徒はこれまでに地理的分野において日本の領域を学び、北方領土や竹島、尖閣諸島など領土をめぐる経緯や課題についての学習を深めている。また、歴史的分野において、第二次世界大戦後のサンフランシスコ平和条約における領土の取り決めや、ソ連と国交が回復した後にも北方領土が返還されずに今日を迎えていることを学習している。

しかしながら、本単元で授業を行う前に実施したアンケートでは、北方領土について知っている生徒は100%であったが、「北方領土がどこにあるか知っていますか」という問いに対し、「わからない」と答えた生徒が13%、「北方領土は返還されるべき領土であると思いますか」という問いに対し、「強く思う」「そう思う」と答えた生徒は31%という結果であった。北方領土という領土問題は認識しているが、自分たちの生活とは関わりのない遠い問題であり、この問題に対して主体的に解決していこうとする姿勢は身についていない。

②単元構成について

本単元は、中学校学習指導要領の「D 私たちと国際社会の諸課題」における「(1)世界平和と人類の福祉の増大」の中で「世界平和の実現」の視点から北方領土問題を学習内容にとりあげた単元である。北方領土はわが国固有の領土であるにもかかわらず、第二次世界大戦後にソ連に不法占拠されたまま今日を迎えている。故郷を追われた元島民の人権、渡航や漁業の制限など、不法占拠に起因するさまざまな問題を抱えている。わが国の平和的な手段による解決を目指す立場のもと、日本、ロシア両国の立場を理解し、解決策を模索することで、領土（領海、領空を含む）、主権を相互に尊重する態度や、日本の平和や世界平和の実現に向け、互いの立場を尊重する力を育成することで、主体的に領土問題に向き合える単元であると考えられる。

③指導について

そこで本単元では、北方領土の歴史的背景や日ロ間で行われている交渉の経緯をおさえるとともに、ふるさとを追われた元島民の思いに寄り添うことで「北方領土問題」とはどのような問題であるのかを捉えさせたい。そして、解決に向けて思考する場面では、日本側とロシア側の立場を分け、日ロの外交上の立場、元島民と北方領土に住むロシア人の立場をそれぞれ対比させることで、多面的・多角的な解決方法を模索させるとともに、公民的分野で大切にしてきた「対立」から「合意」へ導いていくための視点も取り入れながら考えさせたい。また、日本政府の立場は「四島返還後の平和条約締結」であるが、生徒に理由をつけて解決に向けた国境線を引かせることで、北方領土問題解決に向け主体的に関わる態度を養いたい。

3. 単元の指導計画

- 第1次 北方領土の歴史について知ろう・・・・・・・・・・1時間
- 第2次 北方領土問題について考えよう・・・・・・・・・・1時間
- 第3次 北方領土問題解決に向けて考えを深めよう・・1時間（本時）

4. 本時の目標

北方領土問題の解決に向けて、どこに国境線を引くのか、理由をつけて考えることができる。
(思考・判断・表現)

5. 学習過程

	教師からの説明・課題提示 (◆) 生徒の学習活動 (●)	授業のポイント (・) 評価 (※)
予習	予習プリントの確認	
教える (15分)	<p>【説明】</p> <p>◆前時までの復習</p> <ul style="list-style-type: none"> 領土問題はなぜ解決しないといけないのかを再度確認する。 日ロ交渉の歴史を確認する。 元島民の現在の思いを押さえる。 <p>◆現在の北方領土について知る</p> <p>①産業面 ②医療・教育面 ③交通面 ④日本とロシアの交流 ⑤北方領土に住むロシア人の意識</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時までのワークシートを見ながら確認する。 日本側とロシア側に分けて表示する。 日本とロシアの主張を対比させて整理することで、比較させやすくする。
考えさせる (30分)	<p>【理解確認】 <対話的な学び></p> <p>●北方領土問題に対する、日本とロシアのそれぞれの主張を説明しあいなさい。</p> <p>◆世界における領土問題解決事例を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国とロシアの領土問題 シンガポールとインドネシアの海峡をめぐる争い <p>-----</p> <p>【理解深化】 <深い学び></p> <p>●北方領土問題解決に向けて、どこに国境線を引けばよいか、理由をつけて考えなさい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 四島返還で線を引く。そしてインフラや産業面を積極的に支援。 日ソ共同宣言を生かし二島返還。国後、択捉島へは自由に行き来できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 向き合わずに、ペアで交代で説明させる。 対立関係を合意に導くためには、お互いが納得し合える公正の視点が大切であることを伝える。 <p>※北方領土問題解決に向けて、どこに国境線を引くのか、理由をつけて考えることができているか。(ワークシート)【思考・判断・表現】</p>
自己評価 (5分)	<p>【自己評価例】 <主体的な学び></p> <p>・日本とロシアの立場を比較することで、交渉内容は考えやすかったが、(方法知)ロシアを納得させながら領土を返還に導く難しさがわかった。(内容知)これからは、北方領土関係のニュースに注目していきたい。(学習意欲)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 内容知、方法知、学習意欲の視点を提示させることで、授業を振り返りやすいように配慮する。

北方領土が日本固有の領土であることを、歴史の流れを踏まえて説明できる。

1. 北方領土を知ろう！

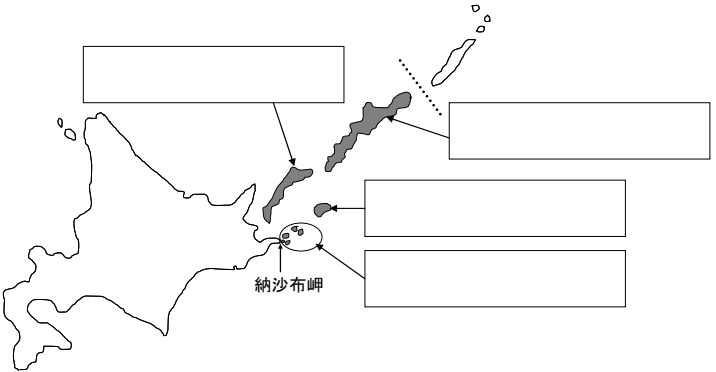
①北方領土の名前を書こう♪

②北方領土と鳥取県、どっちが大きい？

北方領土 鳥取県

③納沙布岬から最も近い北方領土は、3.7 km！

〇〇中学校から（ ）中学校まで



2. 北方領土の歴史を知ろう！

(北方領土の存在を確認！)

今から 400 年前 (江戸時代) に、北方領土にすむ () 人と松前藩の交易記録で確認！



江戸幕府が、最上徳内 (もがみとくない) や近藤重蔵 (こんどうじゅうぞう) に北方領土の調査を命じ、択捉島に石碑を建て、日本の領土であることを示す



江戸時代後半、ロシアが鎖国中の日本に貿易を求めてきた。その後、国境をはっきりさせようという話になる！

(北方領土をめぐるロシアとの約束<条約>)

①1855 年 日魯通好条約

②1875 年 () 交換条約



・択捉島と得撫 (ウルップ) 島の間、初めて両国の () を確定した。

・日本は、ロシアから千島列島をもらう代わりに、樺太 (サハリン) 全島を放棄。

③1905年（ ）条約

④1951年（ ）平和条約



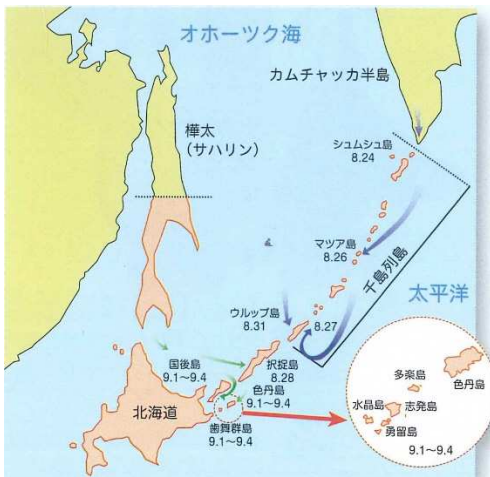
• 日本はロシアから南樺太（南サハリン）をゆずりうける。

• 日本は、千島列島と南樺太（南サハリン）を放棄。千島列島には北方四島は含まれていない。ただ、ソ連はこの条約に調印しなかった。

☆それぞれの条約における日露・日ソ間の国境の取り決めの中で、北方四島は、それぞれどちらの国の領土でしょうか。正しいと思う答えを選び、○をつけよう♪

条約	北方四島の領有権	
日魯通好条約 〔1855年〕(明治)	1. 日本の領土	2. ロシアの領土
樺太千島交換条約 〔1875年〕(明治)	1. 日本の領土	2. ロシアの領土
ポーツマス条約 〔1905年〕(明治)	1. 日本の領土	2. ロシアの領土
サンフランシスコ平和条約 〔1951年〕(昭和)	1. 日本の領土	2. ロシアの領土
	3. どちらでもない	3. どちらでもない

3. 日本側の主張とロシア側の主張



8月14日 ポツダム宣言受諾
15日 玉音放送

※右の図を見て、何かおかしいところはないだろうか？

日本の終戦は、上に書いてある通り。
ソ連（ロシア）の終戦は9月2日

北方領土にアメリカがないことを知ると・・・
日本とソ連の間で結んでいた 日ソ（ ）条約を、
一方的に破り、不法に占領！

4. 北方領土返還に向けたロシアとの交渉

1951年のサンフランシスコ平和条約にソ連が調印していないので、日本はソ連と4島返還を含めた平和条約を結ぶことをめざして交渉していく

①1956年 日ソ（ ）

- ・これは平和条約ではない
- ・平和条約を結んだあとに、歯舞群島、色丹島の2島を渡すと書かれている

:

日本とソ連（ロシア）との間で、さまざまな交渉

:

②1993年 東京宣言

- ・これも平和条約ではない
- ・北方領土問題解決に向けて、2島だけでなく4島返還にむけての基盤をつくる

:

2020年夏 ロシアは「領土割譲禁止条項」を発効

→ロシアは領土問題を含まない平和条約を結ぶことをねらっている

→返したくない理由

- ・経済支援を引き出したい
- ・アメリカににらみをきかせておくことができる

:

現在に至る

(理解確認)

○日本とロシアの北方領土をめぐる条約交渉を、歴史に沿って説明しよう♪

(理解深化)

☆北方領土が「日本固有の領土」であることを、歴史の流れを踏まえて説明しよう。

今日のねらい

北方領土が不法占拠されたことで、どんな問題が発生したか、元島民の思いを通して説明できる。

1. 北方領土の占領から引き揚げまで



終戦時、北方四島に暮らしていた約 17,000 人の日本人のうち、約半数は自ら脱出しましたが、それ以外の島民は、昭和 22 年から 23 年にかけて強制退去させられ、樺太（サハリン）での抑留を経て日本に送還されました。

※ふるさとを奪われた島民は、当時どんな思いを持っていたのだろうか？（JB）

↓
↓ 終戦から 77 年
↓

かつての居住者（元島民）は、いまだ故郷に帰れない状態にあり、自由に行き来もできません。現在平均年齢は 85 歳を超えています。（令和 3 年 3 月末現在）

※元島民の人々は、今、どんな思いをもっているのだろうか？（JB）

（理解確認）

○北方領土が不法占拠されたことで、どんな問題が発生したか、元島民の思いを通して説明しよう♪

（理解深化）

☆なぜ北方領土問題は解決しなければならない問題なのか考えよう！

北方領土問題解決に向けて、どこに国境線を引くのか、理由をつけて考えることができる。

1. 現在の北方領土

北方領土に、日本人は一人も住んでいない。歯舞群島には、国境警備隊がいるだけ。

(産業)

○北方四島では、()業、()加工業が島の主な産業となっている。

→缶詰などは島外へ出荷

○自然環境や気象条件が厳しいため、()業の企業は存在しない!

→野菜の生産の大部分は、家庭菜園!

(医療・教育)

○病院は、国後島と択捉島だけ。それ以外は小さな診療所。医療事情は良好とはいえない。学校は国後島3校、択捉島4校、色丹島2校の計9校ある。

(交通)

○主要道路が整備されたおかげで、物流も少しずつよくなってきた。

2. 日本とロシアの交流

①北方四島交流事業

→平和条約を結ぶまでは、相互理解のために交流してもよいとソ連から提案。

②北方墓参

→北方領土にお墓のある元島民のみ、決められた時期に墓参りを許可。



北方領土へは

(理解確認)

○北方領土問題に対する、日本とロシアのそれぞれの主張を説明しよう♪

(理解深化)

☆北方領土問題解決に向けて、どこに国境線を引けばよいか、理由をつけて説明しよう!

○白地図に国境線を引こう♪



相手を納得させる理由は?

単元を貫く問い

北方領土問題を解決するためには、何が一番必要だろうか？

予想しよう♪ (上の単元を貫く問いに対する自分なりの考えや、大切だと思うことを書こう)

(今の予想)	(どんな情報が必要だろうか?)
--------	-----------------

内容	目標	自己評価 (①分かったこと、②分からなかったこと、③疑問など)
北方領土の歴史	北方領土が日本固有の領土であることを、歴史の流れを踏まえて説明できる。	
元島民の思いに触れる	北方領土が不法占拠されたことで、どんな問題が発生したか、元島民の思いを通して説明することができる。	
北方領土問題解決に向けて	北方領土問題解決に向けて、どこに国境線を引くのか理由をつけて考えることができる。	

【単元のテーマ】 北方領土問題を解決するためには、何が一番必要だろうか？

学びを分析しよう♪ (今回の学習を振り返り、どんなことを意識すると課題が解決しやすくなったか、次の単元でどんなことを意識していけばよいのかを書こう！)

学習の取り組み よい3 2 1よくない

--